

【第三種郵便物認可】

### 名古屋の旧町名復活目指す

名古屋市で旧町名を復活させようという活動が始まった。仕掛け人は経営コンサルタントで名古屋経済の歴史に詳しい北見昌朗さん(53)。1960年代に郵便配達のリ

**観**かん  
**交**こう  
**人**ひと

名古屋の旧町名の復活を目指す有志の会

北見 昌朗さん



きたみ・まさお 1959年(昭34年)愛知県生まれ。82年愛知大文卒、中部経済新聞社入社。95年北見式賃金研究所を設立。旧町名復活に向けた活動を昨年始め、2月に旧町名の復活を目指す有志の会を立ち上げ。

### 市の条例変更へ機運作り

便性を考えて簡素化された現地名からの変更を目指している。

名古屋の中心部、中区の繁華街で「錦三(きんさん)」と呼ばれる場所の住所は錦3丁目だが、江戸時代の旧町名は「蒲町」「瀬戸物町」などが

焼町」などだった。名古屋城を築く際、かば焼き職人が集まったことが由来とされる。「錦」「栄」

「丸の内」という地名の場所にはこのほか「木挽町」「両替町」「八百屋町」「瀬戸物町」などがあ

い。「トヨタは三河発祥」と思っている人が多く、名古屋人は町の歴史に疎い」と感じるのも町名が断絶していることが一因と見る。

旧町名復活には市の条例を変更するだけでよいという。印刷物の住所表記の変更で経費もかかるが、金沢市などで復活した事例もある。住民や事業者を置く企業など関係者の合意形成など機運を盛り上げたい考えだ。有志の会は月1回の例会で名古屋の歴史を学ぶ活動を始め、9月に古地図を

北見さんが旧町名に興味を持ったのは名古屋の経済人の歴史を調べ始めたことがきっかけだ。例えばトヨタグループの始祖、豊田佐吉は名古屋市朝日町で創業したとされるが、現在は同町名はない。「トヨタは三河発祥」と思っている人が多く、名古屋人は町の歴史に疎い」と感じるのも町名が断絶していることが一因と見る。

内を「観」の集り、波及、観、推、を、同、る、高、ア、ガ、置、光、全